

# 第41回全市全郡コンテスト規約

2020年10月10日(土) 21:00 ~ 11日(日) 21:00 (JST)開催

●紙によるログ・サマリイの提出は手書きの物のみ受付となります。

## 1. 開催日時 (JST)

2020年10月10日(土) 21:00 ~ 11日(日) 21:00

## 2. 参加資格

日本国内のアマチュア局およびSWL (アマチュア局の電波を受信する個人をいう。以下同じ)

## 3. 使用周波数帯

次の使用周波数帯および1200MHz帯以上の各アマチュアバンドとする。なお、1200MHz以上の周波数帯は、総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」によるものとする。

周波数帯	電 信 (CW)	電 話
3.5MHz帯	3.510-3.530MHz	(AM/SSB) 3.535-3.570MHz
7MHz帯	7.010-7.040MHz	(AM/SSB) 7.060-7.140MHz
14MHz帯	14.050-14.080MHz	(AM/SSB) 14.250-14.300MHz
21MHz帯	21.050-21.080MHz	(AM/SSB) 21.350-21.450MHz
28MHz帯	28.050-28.080MHz	(AM/SSB) 28.600-28.850MHz (FM) 29.200-29.300MHz
50MHz帯	50.250-50.300MHz	(AM/SSB) 50.300-51.000MHz (FM) 51.000-52.000MHz
144MHz帯	144.050-144.090MHz	(AM/SSB) 144.250-144.500MHz (FM) 144.750-145.600MHz
430MHz帯	430.050-430.090MHz	(AM/SSB) 430.250-430.700MHz (FM) 432.100-434.000MHz

(注) A2A電波による通信はAM/SSB, F2A電波による通信はFMの使用周波数帯とする。

※JARL主催コンテスト(ALL ASIAN DX, QSOパーティを除く)では、電波型式ごとに「コンテスト使用周波数帯」を制定しています。運用にあたって特に注意してほしいのは、SSBにおいてLSBの場合は下限周波数、USBの場合は上限周波数です。たとえば7MHzにおけるコンテストの下限周波数は7060kHzですが、LSBですので、ダイヤルに表示される周波数は、7063kHzになります。仮に7060kHzの表示周波数で送信すると7057kHz ~ 7060kHzの範囲の電波を送信したことになり、周波数帯の逸脱になります。14MHzの場合はUSBですので、上限周波数は14297kHzの表示周波数になります。14300kHzの表示で送信すると14300kHz ~ 14303kHzの範囲の電波を送信したことになり、周波数帯の逸脱になります。以上の点に注意して、コンテストをお楽しみください。

## 4. 参加部門および種目(右表)

(注1) 電話部門のすべての種目は、空中線電力10W以下(50~430MHzバンドでは20W以下)とする。

(注2) 電信電話部門は、「電信および電話」または「電話」によるものとする。ただし、SWLおよびジュニアは電信のみによる参加のときも、この部門に含めることとする。

(注3) シングルオペは、コンテスト中の運用に関わるすべてのことを一人で行うものとし、それ以外はマルチオペとする。

(注4) 電話部門オールバンド種目は、14MHzバンドによる運用は除く。

(注5) ニューカマーは、初めて局を開設した個人局であって、局

部門	種目	コードナンバー(注10)				
			H	M	P	
電話(注1)	シングルオペ(注3)	オールバンド(注4)	PA			
		3.5MHzバンド	P35			
		7MHzバンド	P7			
		21MHzバンド	P21			
		28MHzバンド	P28			
		50MHzバンド	P50			
		ニューカマー(注5,9) (14MHzを除く)	PN			
		マルチオペ(注11)	オールバンド(注4)	PMA		
		電信	シングルオペ(注3)	オールバンド	CAH	CAM
	3.5MHzバンド			C35H	C35M	C35P
7MHzバンド	C7H			C7M	C7P	
14MHzバンド	C14H			C14M	C14P	
21MHzバンド	C21H			C21M	C21P	
28MHzバンド	C28H			C28M	C28P	
50MHzバンド	C50H			C50M	C50P	
144MHzバンド	C144					
430MHzバンド	C430					
1200MHzバンド	C1200					
2400MHzバンド	C2400					
5600MHzバンド	C5600					
10.1GHzバンド以上(注9)	C10G					
シルバー(注6,9)	CS					
マルチオペ(注11)	オールバンド		CMAH	CMAM		
2波(注7,9)	CM2					
電信電話(注2)	シングルオペ(注3)		オールバンド	XAH	XAM	XAP
			3.5MHzバンド	X35H	X35M	X35P
			7MHzバンド	X7H	X7M	X7P
		14MHzバンド	X14H	X14M	X14P	
		21MHzバンド	X21H	X21M	X21P	
		28MHzバンド	X28H	X28M	X28P	
		50MHzバンド	X50H	X50M	X50P	
		144MHzバンド	X144			
		430MHzバンド	X430			
		1200MHzバンド	X1200			
		2400MHzバンド	X2400			
		5600MHzバンド	X5600			
		10.1GHzバンド以上(注9)	X10G			
	シルバー(注6,9)	XS				
SWL(注2,9)	XSWL					
マルチオペ(注11)	オールバンド	XMAH	XMAM			
2波(注7,9)	XM2					
ジュニア(注2,8,9)	XMJ					

免許年月日が開催日の3年前の同日以降に免許された局とする。

(注6) シルバーは、年齢が70歳以上のオペレータによる運用であるものとする。

(注7) 2波は、いかなる場合も同時に送信できるのは2波(異なる2バンド)以下とし、2波それぞれに「10分間ルール」を適用する。「10分間ルール」とは、バンドを変更したときは受信時間を含めて少なくとも10分間そのバンドにとどまらなければならない、というルール。

(注8) ジュニアは、年齢が18歳以下のオペレータの運用とする。

(注9) ニューカマー、シルバー、2波、SWLおよびジュニアは使

用するバンド数に関係なくオールバンドにエントリーしたものとみなす。10.1GHzバンド以上、SWLおよび2波は、使用するバンドに制限はない。

(注10) コードナンバーのH, M, Pは、それぞれ空中線電力「100W超」, 「5W超100W以下」, 「5W以下」の電力区分を表す。

(注11) 運用場所は一箇所とし、運用範囲は直径500mの円内とする。

## 5. 交信方法

### (1) 呼び出し

①電話の場合……CQ コンテスト (またはCQ JA コンテスト)

②電信の場合……CQ TEST (またはCQ JA TEST)

### (2) コンテストナンバー交換

次のナンバーを交換する。

RST符号による相手局のシグナルレポート

自局の運用場所を示す市、郡、区ナンバー

空中線電力を表すアルファベット1文字 (注1)

(例) 相手局のシグナルレポートが「59」, 自局の運用場所が東京都豊島区「100116」, 空中線電力が「10W」の電話によるコンテストナンバーは、「59100116L」

(例) 相手局のシグナルレポートが「599」, 自局の運用場所が東京都西多摩郡「10002」, 空中線電力が「100W」の電信によるコンテストナンバーは、「59910002M」

(注1) 空中線電力別の記号(アルファベット)と種目コードとの関連は、次の区分による。

使用した空中線電力	記号	種目コード
100W超	H	H
10W (20W) を超え100W以下	M	M
5Wを超え10W (20W) 以下	L	
5W以下	P	P

( )内は50～430MHzバンドのとき

## 6. 共通規約

- (1) クロスバンドによる交信を禁止する。
- (2) コンテスト中の運用場所の変更を禁止する。ただし(3)の場合を除く。
- (3) コンテスト参加の目的で常置場所を離れ移動運用する局かつシングルオペに限り、運用開始時のマルチプライヤー内の運用場所変更を認める。
- (4) シングルオペの同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射を禁止する。
- (5) マルチオペの同一バンドにおける2波以上の電波の同時発射を禁止する。
- (6) レピータによる交信を禁止する。
- (7) コールサインもしくはマルチプライヤーを受信信号の周波数情報と共にオペレーターに知らせるあらゆる技術、たとえばWebクラスター、CWスキマー、リバースビーネットワークの使用を認める。
- (8) 自局の運用情報をWebクラスターにアップロードするセルフスポッティングやスポットを依頼する行為を禁止する。

(9) リモート運用は、すべてのアンテナ、送信機、受信機がひとつの所在地に取まっている場合にのみ許される。すべてのリモート運用局は、局免許、オペレーター免許、および該当参加部門のルールに従うこと。

(10) 送信機、受信機、アンテナを設置した無線局の所在地外に位置するリモート受信機の使用は禁止する。

(11) コンテスト終了後に、データベースや録音、電子メールまたはその他の手段を使って交信ログを作ったりあるいは交信を確認したり、コールサインやナンバーを修正することを禁止する。ただし、手書きログを電子ログ化する作業は、これに含まれない。

(12) 一つのコールサインで複数の部門・種目にログを出すことを禁止する。

(13) 一人のオペレータが複数の異なるコールサインで運用し、それぞれのコールサインでログを提出することを禁止する。

## 7. 得点およびマルチプライヤー

### (1) アマチュア局

#### ①得点

第5項(2)に定めるコンテストナンバーの交換が完全に行なわれた交信を1点とする。

同一バンドにおける重複交信(同一局との2回以上の交信) (注): 0点

(注) 電波型式が異なる場合の同一局との2回以上の交信も重複交信

#### ②マルチプライヤー

交信相手局の運用場所を示す異なる市、郡、区バンドが異なれば同一市、郡、区であってもマルチプライヤーとする。

### (2) SWL

#### ①得点

送信および受信局のコールサインならびに送信局の送出したコンテストナンバーの受信: 1点

同一バンドにおける重複受信(同一局を2回以上受信することをいう) (注): 0点

(注) 電波型式が異なる場合の同一局との2回以上の受信も重複受信

#### ②マルチプライヤー

送信局の運用場所を示す異なる市、郡、区、ただし、バンドが異なれば同一市、郡、区であってもマルチプライヤーとする。

## 8. 総得点の計算方法

### (1) オールバンドの場合

[各バンドにおける得点の和]

× [各バンドで得たマルチプライヤーの和]

### (2) シングルバンドの場合

[当該バンドにおける得点の和]

× [当該バンドで得たマルチプライヤーの和]

## 9. 書類の提出

### (1) 電子ログによる場合

電子ログによる提出の場合、所定の様式(JARL Web参照)で作成したテキストデータをメールで提出先アドレス(acag@jarl.org)に送信する。記憶媒体(3.5インチフロッピーディスク、USBメモリ、CD-R、DVD-R、SDカード(mini-SD、micro-SD))による提出の場合、電子ログによる提出と同様の形式のデータを記憶媒体に入れて郵送する。封筒には「(記憶媒体の名称)在中」と朱書きで記入すること。なお、記憶媒体は返却しない。

(2) 紙ログによる場合

JARL制定の「サマリーシート」および「ログシート」(または同形式のもの、A4判)を使用し、必要事項を記入して提出する。

また、紙によるログ・サマリーは記入項目が手書きのもののみを受け付けることとする。

(3) 記入内容は種目に応じて、次のとおりとする。

- ①マルチオペの場合：全オペレータのコールサイン(コールサインがない場合は氏名)、および年齢(ジュニアのみ)をJARL電子ログ形式ではなくMULTIOPLIST>に記入する。(JARL Web電子ログサマリー作成ページでは「マルチオペ、ゲストオペの場合の運用者のコールサイン(氏名)」)、紙ログの場合はサマリーシートの意見欄に明記すること。(同欄に全部記入できない場合は、サマリーシートの裏面または別紙に記入する)2波の場合は、交信ごとに送信波系列が分かるようにすること、または2系列の送信波ごとに時間順に並べること。
- ②ニューカマーの場合：局免許年月日を電子ログサマリーあるいは紙ログサマリーシート意見欄に明記すること。
- ③シルバーの場合：年齢を電子ログサマリーあるいは紙ログサマリーシート意見欄に明記すること。

(4) 入賞対象局について、次に掲げる資料等の提出を求める場合がある。

- ① 交信または受信時に記入したログ(オリジナルログ)
- ② 送信機の名称、測定出力など運用時のデータ
- ③ マルチオペ種目のオペレータの無線従事者資格

LOG SHEET(ログシート)  
Category: コールサイン 7N40VQ

Date 年月日	Time 時刻	Mode モード	Station 局名	Exchange 交換	Time 時間	Power 電力	QRM 電界	QSB 電圧	QTH 位置	QST 状況
2020-10-24	21:35	7	SSB	JR3B	5910016L	591016P	2/2	1		
2020-10-24	21:40	7	SSB	JR3B	5910016L	591016H	3/2	1		
2020-10-24	22:32	7	SSB	JR3B	5910016L	591420M	1/2	1		
2020-10-24	22:38	7	SSB	JR3B	5910016L	591016P		0		
2020-10-24	06:59	7	SSB	JR3B	5910016L	592516M	2/2	1		
2020-10-24	07:01	7	SSB	JR3B	5910016L	590705M	2/2	1		
2020-10-24	07:02	7	SSB	JR3B	5910016L	592708L	2/2	1		
2020-10-24	07:22	7	SSB	JR3B	5910016L	591016H	1/2	1		
2020-10-24	07:23	7	SSB	JR3B	5910016L	591016M	1/2	1		
Total (合計) 9										Total (合計) 8 8

▲ログシートの記入例

の確認資料(無線従事者免許証のコピー)

(5) 提出締切日 2020年11月2日

(6) 提出先

- ①電子ログ(E-mail)による場合 acag@jarl.org
- ②郵送の場合

〒170-8073 JARL 全市全都コンテスト係

(7) 個人情報の利用について

JARLは、個人情報を取得した際の利用目的の範囲内でJARLの実施するコンテスト業務遂行(集計・審査・賞状発送)のために利用する。

10. 賞

(1) 各種目の書類提出局には、その局数の10%以内でかつ最大7位までの順位のJARL会員局に賞状を贈る。ただし、シングルオペ50MHzバンド以上の種目については、コールエリアの提出局数とする。

なお、出力別に分かれている種目では、最初に種目コードH・M・Pの全体を通じての局数に応じて、次にM・P全体を通じての局数に応じて、最後にPだけの局数に応じて、それぞれ入賞者を選出する。重複した場合はその旨を賞状に併記することとする。

(2) シングルオペ50MHzバンド以上の種目を除く各種目上位25%以内にあるコールエリア第1位のJARL会員局に賞状を贈る。ただし、(1)の賞状を贈る局に対しては、この賞状は発行しない。

(3) シングルオペ50MHz、144MHz、430MHzバンドの各種目については、全国第1~3位のJARL会員局に賞状を贈る。

JARL 主催コンテスト用サマリーシート

バンド	交信回数	得点	マルチポイント
18MHz			
3.5MHz			
7MHz	9	8	8
14MHz			
21MHz			
28MHz			
50MHz			
144MHz			
430MHz			
1200MHz			
5000MHz			
10.1GHz			
合計	9	8	8

コンテストの名称: 第10回 全市全都コンテスト  
参加局数(上位7位以内): 8  
コードナンバー: P7  
呼称: 鹿野部 7N40VQ  
コールサイン: 7N40VQ  
運用者のコールサイン: 7N40VQ  
シングルオペ以上と表示する場合は

総得点: 84

連絡先: 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-1-1 鹿野クラブ技研  
TEL: 03-3980-0257  
局免許者の氏名(出題の名称): 豊島 仁夫  
E-mail: 鹿野クラブ  
局免許者の所属団体名(資格): 第三回 JPA7 無線技士

コンテストで使用した最大の中継電力: 10 W  
送信機出力: 鹿野クラブ  
使用した設備(シグ名称(自作の場合は機名・型番)、添字):

署名 [マルチオペ、ゲストオペの場合は、運用者コールサインまたは、コールサインの無い場合は氏名を記入する]  
鹿野 仁夫

2020年 10月 20日 局免許者(住所の代表者の署名) 鹿野 仁夫

▲サマリーシートの記入例

#### 11. 失格事項等

- (1) ログシートに記載されている交信または受信局のコールサイン等について審査の結果、明らかに虚偽の記載が認められた場合は失格とする。
- (2) この規約に定める事項に違反した場合は、コンテスト審査において処分を決定する。この処分とは、減点、警告、エントリーのチェックログへの移行、失格等を言う。
- (3) (1)、(2) 及びコンテスト結果に対して異議の申し立てを受け、裁定の結果失格となった局は、失格

の日から3年間はJARL主催コンテストに参加しても入賞を認めない。

- (4) 失格の局は、コールサインおよび失格の理由をJARL NEWSに発表する。

#### 12. JARL登録クラブの得点および順位等

JARL登録クラブの構成員(マルチオペ局1局ならびにSWLを除くシングルオペ局)から申告の総得点をもって登録クラブ種別ごとに順位を決定する。

#### 13. 結果発表

2021年3月ごろを予定(JARL NEWS, JARL Web等)